

オーストラリア タスマニア クレードル・マウンテン 山行報告書

No. 7

日 程：2024 年〔令和 6 年〕2 月 16 日

コース：ビジターセンター〔シャトルバス〕⇒ DOVE LAKE ⇨ ダブ湖 ⇨ Kitchen Hut
⇨ クレードル・マウンテン ⇨ Lake Wilks ⇨ ダブ湖 ⇨ DOVE LAKE〔シャトルバス〕⇒ ビジターセンター

13 日に Discovery Parks-Cradle Mountain のロッジに到着後、ずっと天候が悪く滞在した最終日の 16 日に運よく晴れの予報となったため、今回の山旅の第一目標であるクレイドル マウンテンの山頂を目指した。

シャトルバス始発が 8 時 10 分のため、ロッジを 7 時 20 分出発。

バス停には、奥さんが日本人の夫婦がすでに来ていて、出発まで談笑。バス停の片隅で、タスマニアン パディメロンも出迎えてくれた。



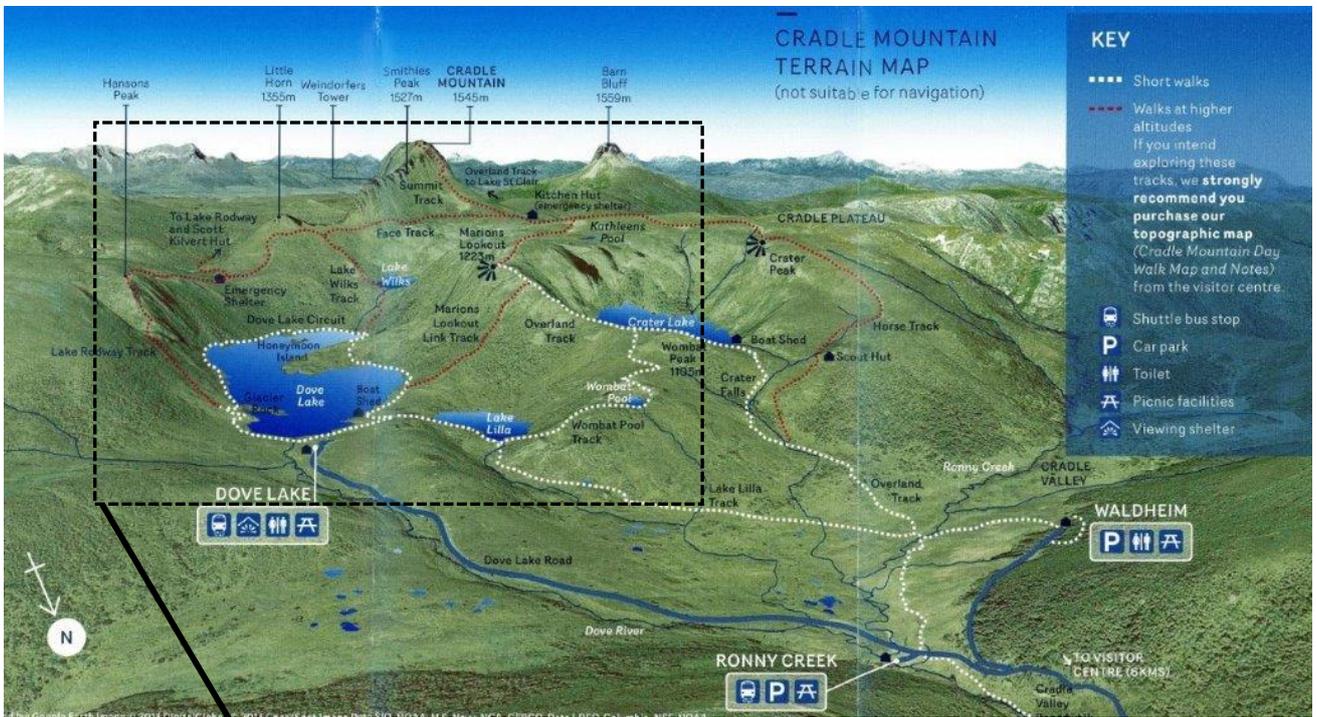
ビジターセンター



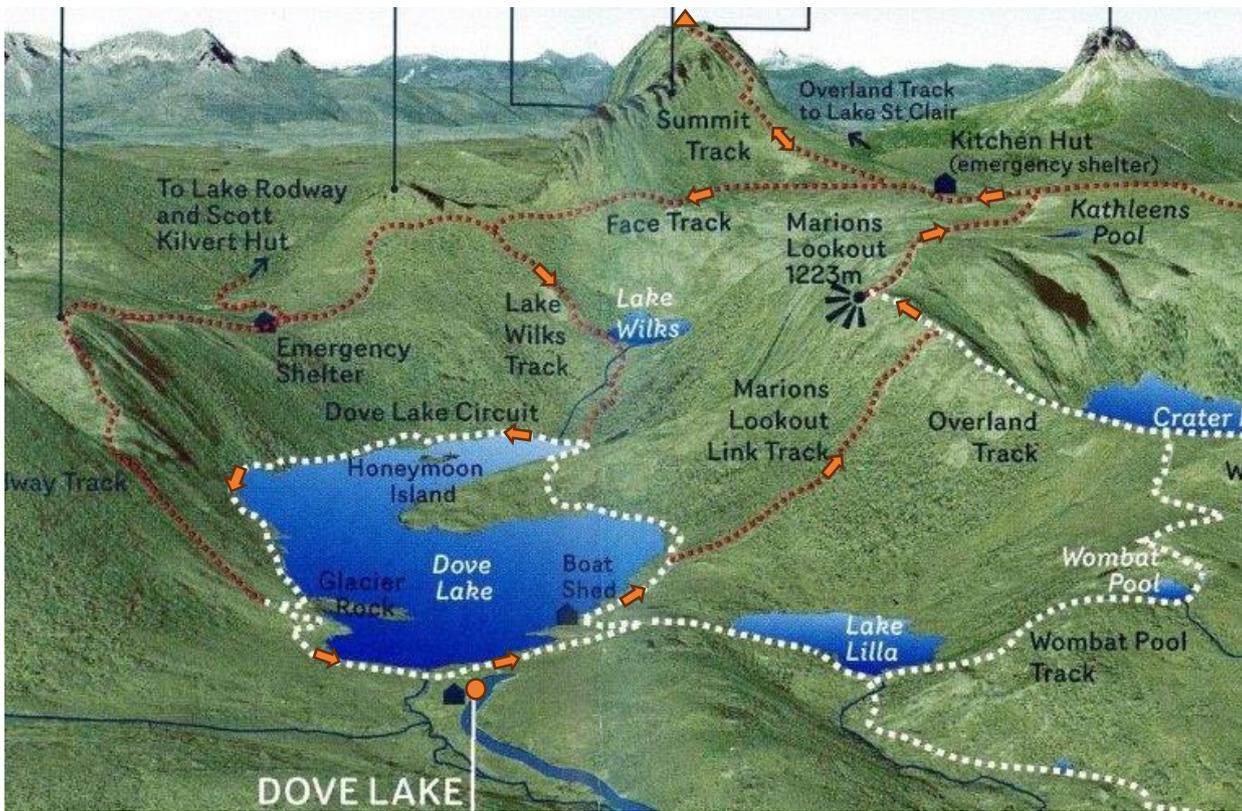
シャトルバスのバス停

バス停の片隅にいた
タスマニアン パディメロン





パンフレットより



我々が登ったコース →





ダヴ湖畔よりクレイドルマウンテン [1,545m] を望む

バス停を降りると目の前に、ダヴ湖とクレイドル マウンテンの迫力ある景色が目に飛び込んできて、何枚シャッターを切っただろうか、この数日天候が悪かったこともあり大感激である。

バス停を出発ダヴ湖湖畔のボート小屋の前で記念撮影。ここが、クレイドル マウンテンの撮影ポイントの一つで、順番待ちをして皆さんここでシャッターを切っている。





正面右のピークを目指して登って行く



急登の登り



バス停とタブ湖 右下にボート小屋の屋根が確認できる





マリオンズ展望台 (Marions Lookout) [1,223m] よりクレイドルマウンテンを望む



マリオンズ展望台より Lake Lilla と右にバス停 (DOVE LAKE) [望遠]



進むにつれ前方に Barn Bluff のピークが、クレイドルマウンテンの右に徐々に見えてくる





前方に Barn Bluff [1,559m]



右側にキッチン ハット (緊急避難所)



キッチン ハット



後方の登山道から登ってきた

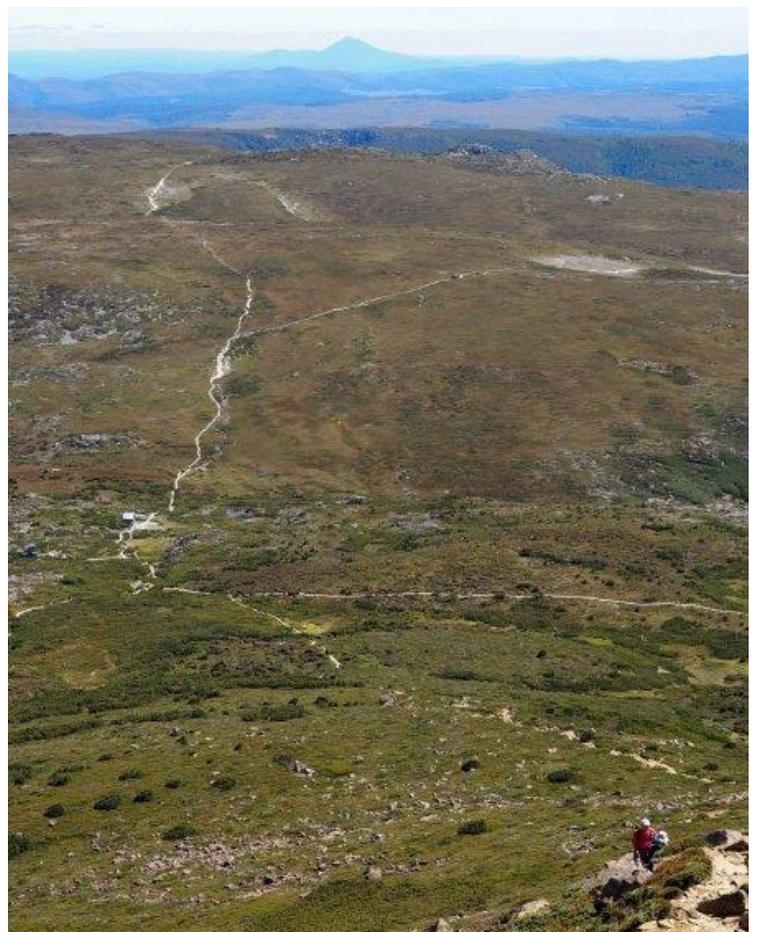


いよいよクレイドル マウンテンの岩稜に差し掛かる
..... を登って行く





真っ青な サットンズ ターン(Suttons Tarn)



登って着たルートが確認できる



大きな岩が積み重なったルート



始めのピークを乗越したところ



二つ目のピーク付近 ややお疲れ気味



二つ目のピークからコルへ



この三つ目のピークを越えると山頂



クレイドルマウンテン山頂 多くの人で賑わっている



クレイドルマウンテン山頂 [1,545m]
朝バス停で御一緒した夫妻と一緒に記念撮影



山頂より Barn Bluff [1,559m] を望む





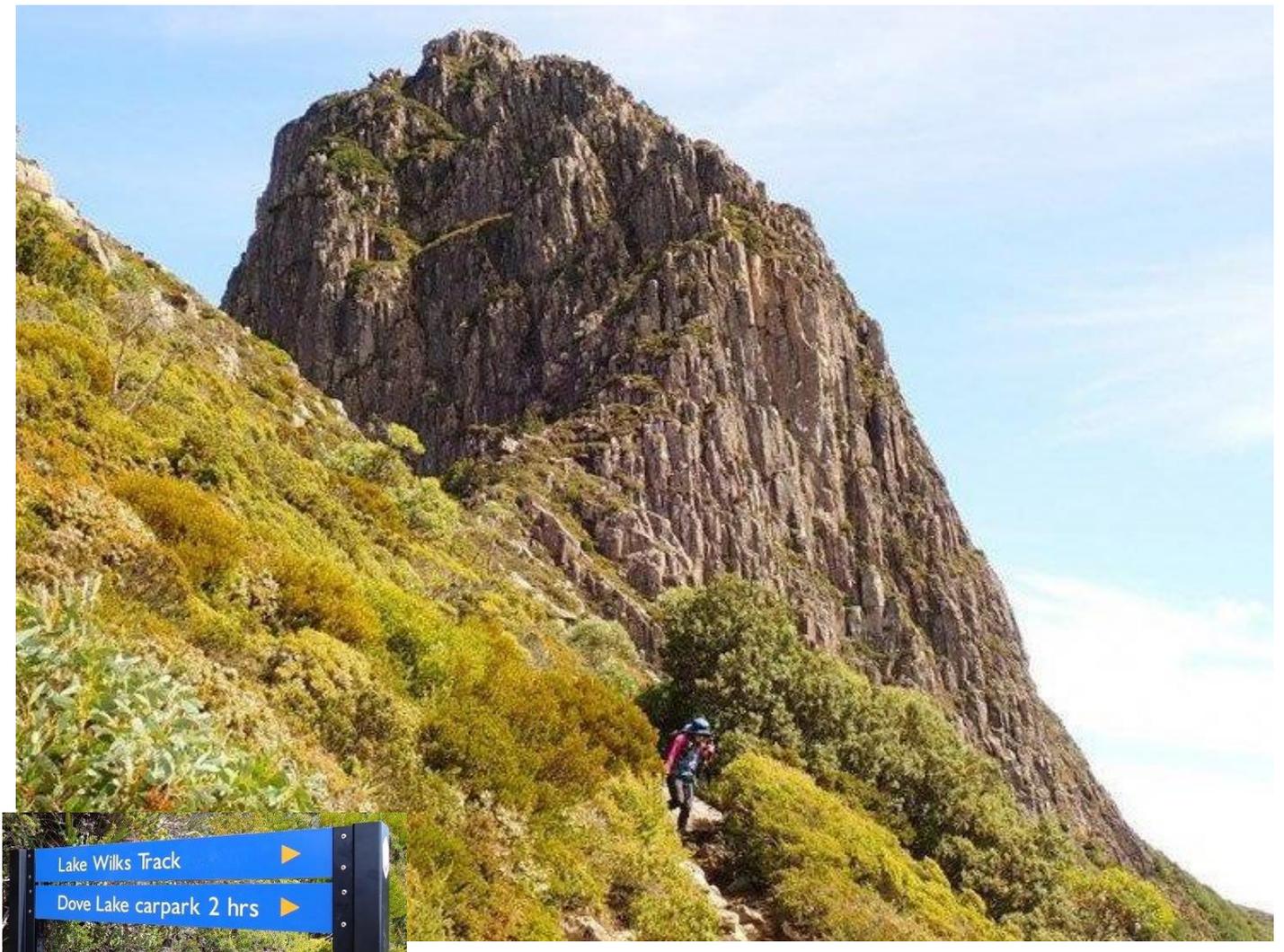
Face Track (Face Track を通過し Wilks 湖経由でダヴ湖に向かって下山)



Face Track よりのクレイドル マウンテンの岩稜を見上げる



Wilks 湖とダヴ湖を望む



Lake Wilks Track

Dove Lake carpark 2 hrs



Lake Wilks Track をダブ湖に向かって下山



ダブ湖畔の Dove Lake Circuit よりのクレイドルマウンテンを望む



ダブ湖畔を半周やっとバス停近くまで到着 お疲れさまでした



麓のレンジャーステーション(Cradle Mountain Interpretation Centre & Ranger Station)の模型
ダブ湖周辺の高低差の概要がある程度把握できる

この数日天候が悪かったこともあり、好天のクレイドル マウンテンの岩峰は、写真で見るのとは大違いで、間近に見ると予想通り迫力があり素晴らしいものであった。

山頂直下の岩稜帯も、多くの登山者が登っていて岩も安定しフリークッションがよく効き、バランスが悪い一部メンバーを除いて快適に登れた。

休憩も含み 8 時間 30 分の行程であった。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura